

残存者お見舞申上素ます。

大震災入りの既に五月が経過し市民生活も落ち着きを取り戻さ参ります。

九月からは、土日は各部当直体制による平常勤務といひし、長期戦体制を取ることを致します。

仮設住宅入居の当様に対応する、出来る限りのサポート体制を考え参ります。

被災者の方々が最終的な入居設計を描ける

よういづる者には、まだまた、労力と時間を要し

ますので、今後とも国、県と協議を旨の所

精一杯頑張ります。所存です。

まづ、山梨県専達の継続開催を機に

被災当初からの記録の抜粋を中間報告

として取りまとめるべく、両報告と御礼と

兼ねて送付する予定です。

能く頑張るご功績と有難く思っております。
また被災者の方々のため市民の皆さんも
不便・不自由の耐えを下さり、お陰で
対策本部が機能しております。

自衛隊 警察 消防署の方々は職務を
盡し、数々と長時間をひとつに長く苦楽を共に
して参っております。

被災者の方々の命を救ったのは千歳相馬です。
復興・新車が考えられるまでは、今までの以上の
千歳ワウと、努力と知恵が必要と覚悟を
しております。

どうか長かきほど温かい気持ちで相馬市と
御支援賜います様お願申し上げます。

卓々

平成三十三年盛夏

各位

相馬市災害対策本部

本部長 文谷秀清

